



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 成学社  
 コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,374	3.2	469	22.9	449	50.4	220	61.1
2019年3月期第3四半期	9,083	6.0	608	82.1	907	41.7	566	48.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 216百万円 (61.6%) 2019年3月期第3四半期 563百万円 (46.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	39.88	
2019年3月期第3四半期	102.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,487	2,825	29.8
2019年3月期	8,858	2,669	30.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,825百万円 2019年3月期 2,669百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.35		5.35	10.70
2020年3月期		5.50			
2020年3月期(予想)				5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,641	6.3	223	41.9	189	72.2	13	96.5	2.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 成学社ベトナム有限責任会社、除外 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	5,876,000 株	2019年3月期	5,876,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	350,260 株	2019年3月期	350,260 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	5,525,740 株	2019年3月期3Q	5,525,740 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育および保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,374,419千円（前年同期比3.2%増）、営業利益は469,369千円（前年同期比22.9%減）となりました。営業外損益、特別損益に特筆すべきものがなかったことから、経常利益は449,623千円（前年同期比50.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は220,390千円（前年同期比61.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①教育関連事業

例年ピークを迎える11月時点のグループ生総数（直営教室に限る）は26,060人（前年同月比0.5%減）となり、部門別では、個別指導部門17,660人（同0.7%増）、クラス指導部門7,556人（前年同月比6.0%減）、保育部門647人（前年同月比32.3%増）、その他の指導部門197人（同51.5%増）となりました。個別指導部門は、ブランドの特長である「点数アップと大学受験に強いフリーステップ」の継続的なアピールにより、塾生数は増加いたしました。クラス指導部門は、大阪市立中高一貫校の学習指導に特化したコースや小学校プログラミング教育の全面実施に対応したコンテンツの導入等により、新たな顧客層を取り込みました。保育部門は運営する保育所の増加、その他の指導部門は「開成アカデミー日本語学校」が日本語教育機関の適正校として認定されたことにより受入れ可能な外国人留学生の定員が増加し、学生数は増加いたしました。

売上面では、塾生1人当たりの単価の上昇、園児数の増加等により、セグメント売上高は9,262,534千円（前年同期比3.2%増）となりました。費用面では、事業拡大に伴う人件費の増加、塾生募集の広告強化による費用の増加等により、セグメント利益（営業利益）は501,299千円（前年同期比22.3%減）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）およびテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は28,249千円（前年同期比3.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は25,658千円（前年同期比17.4%増）となりました。

#### ③飲食事業

個人消費の伸び悩み等の影響により厳しい事業環境が続いているものの、店舗の特色をアピールし集客力を高めたことで、売上高は83,635千円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント損失（営業損失）は13,022千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）14,501千円）と改善いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から628,995千円(7.1%)増加し、9,487,218千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から648,392千円(20.0%)増加し、3,896,343千円となりました。これは主として営業未収入金が前連結会計年度に比べ1,038,166千円増加し、その他に含まれる未収入金が前連結会計年度に比べ207,571千円、現金及び預金が同167,578千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から19,396千円(0.3%)減少し、5,590,874千円となりました。これは主として投資その他の資産の差入保証金が前連結会計年度に比べ49,787千円増加し、有形固定資産が前連結会計年度に比べ66,100千円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末から472,885千円(7.6%)増加し、6,661,629千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から251,738千円(7.0%)増加し、3,857,851千円となりました。これは主として短期借入金の前連結会計年度に比べ228,332千円、前受金が同218,691千円増加し、買掛金が前連結会計年度に比べ105,302千円、賞与引当金が同94,721千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から221,146千円(8.6%)増加し、2,803,777千円となりました。これは主として長期借入金の前連結会計年度に比べ231,548千円増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末から156,110千円(5.8%)増加し、2,825,589千円となりました。これは主として利益剰余金の前連結会計年度に比べ160,435千円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2019年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,514,622	1,347,043
営業未収入金	1,040,131	2,078,297
商品	80,879	50,429
仕掛品	-	6,186
貯蔵品	17,042	17,719
その他	613,532	414,870
貸倒引当金	△18,257	△18,203
流動資産合計	3,247,951	3,896,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,220,747	4,294,618
減価償却累計額	△1,379,458	△1,520,479
建物及び構築物(純額)	2,841,288	2,774,138
土地	1,107,772	1,107,772
その他	1,017,499	1,086,439
減価償却累計額	△706,589	△774,479
その他(純額)	310,910	311,960
有形固定資産合計	4,259,971	4,193,870
無形固定資産		
のれん	1,353	22,083
その他	118,709	109,004
無形固定資産合計	120,062	131,087
投資その他の資産		
差入保証金	917,948	967,735
その他	312,288	298,180
投資その他の資産合計	1,230,236	1,265,916
固定資産合計	5,610,271	5,590,874
資産合計	8,858,222	9,487,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	198,664	93,361
短期借入金	596,668	825,000
1年内返済予定の長期借入金	582,079	632,055
未払法人税等	206,900	141,642
前受金	733,509	952,200
賞与引当金	129,037	34,316
その他	1,159,252	1,179,275
流動負債合計	3,606,113	3,857,851
固定負債		
長期借入金	1,996,678	2,228,227
退職給付に係る負債	5,890	5,872
資産除去債務	465,729	465,331
その他	114,331	104,345
固定負債合計	2,582,631	2,803,777
負債合計	6,188,744	6,661,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	175,108	175,108
利益剰余金	2,543,961	2,704,397
自己株式	△288,452	△288,452
株主資本合計	2,665,725	2,826,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,026	6,860
為替換算調整勘定	△273	△7,432
その他の包括利益累計額合計	3,753	△571
純資産合計	2,669,478	2,825,589
負債純資産合計	8,858,222	9,487,218

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	9,083,698	9,374,419
売上原価	7,159,837	7,481,669
売上総利益	1,923,860	1,892,750
販売費及び一般管理費	1,315,411	1,423,381
営業利益	608,449	469,369
営業外収益		
受取利息	1,120	608
受取配当金	700	720
補助金収入	269,482	730
為替差益	2,078	3,660
その他	45,788	4,098
営業外収益合計	319,170	9,818
営業外費用		
支払利息	19,562	22,543
固定資産除却損	-	3,839
その他	672	3,179
営業外費用合計	20,234	29,563
経常利益	907,384	449,623
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	1,378	-
事業譲渡益	7,460	-
特別利益合計	8,838	-
特別損失		
減損損失	-	18,825
特別損失合計	-	18,825
税金等調整前四半期純利益	916,223	430,798
法人税、住民税及び事業税	337,849	208,669
法人税等調整額	11,504	1,738
法人税等合計	349,354	210,408
四半期純利益	566,868	220,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	566,868	220,390

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	566,868	220,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,848	2,833
為替換算調整勘定	△1,672	△7,158
その他の包括利益合計	△3,521	△4,325
四半期包括利益	563,347	216,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563,347	216,065
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、株式会社ナスピアの株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より成学社ベトナム有限責任会社を新規設立したため、同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,975,289	27,223	81,185	9,083,698	—	9,083,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,775	—	19,775	△19,775	—
計	8,975,289	46,998	81,185	9,103,473	△19,775	9,083,698
セグメント利益又は 損失(△)	645,411	21,851	△14,501	652,760	△44,311	608,449

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,311千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用44,311千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	9,262,534	28,249	83,635	9,374,419	—	9,374,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,905	—	20,905	△20,905	—
計	9,262,534	49,154	83,635	9,395,325	△20,905	9,374,419
セグメント利益又は 損失(△)	501,299	25,658	△13,022	513,934	△44,565	469,369

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,565千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用44,565千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において18,825千円であります。